

スカウト おおいた

第60号

2021年 6月 13日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

「活動的で自立したスカウトを育てよう！」

三指。

日頃よりボーイスカウト大分県連盟の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大防止にあたっては、ボーイスカウト日本連盟が要請している各県連盟での地域状況に応じた感染防止策に則り、各団へ適宜連絡等を続けて参りますので、引き続き対応への協力をよろしくお願い致します。

日本連盟が2022年に創立100周年を迎えるにあたり、2016年度に策定した長中期計画の最後の年を迎えました。本年度も事業スローガン「活動的で自立したスカウトを育てよう！」、とりわけ大分県連盟としては『災害にもそなえるスカウト』を目指したいと存じます。

重点施策の骨子は引き続き次のとおりですが、下記にはそれぞれの内容を示していますので、あわせてご確認ください。

- 1) 社会から評価されるスカウトの育成
- 2) 隊・団指導者の充実
- 3) 会員の確保
- 4) セーフ・フロム・ハーム等スカウト運動の社会的信頼の向上

昨年は、新型コロナの感染拡大防止への対応に終始した一年間でした。その影響で「大分トリニータ連携応援イベント」や「全国防災キャラバン」ほか多くの対外行事を見合わせざるを得ませんでした。一方で、新たにオンラインを活用した活動や集会、会議を取り入れた団もあったかと存じます。そこで、本年度の事業計画の基本方針には、新たに「新型コロナ感染予防に則った活動」を追加しています。新型コロナの状況下、スカウト運動を持続するには活動継続へ向けた対応（①新しい生活様式への対応、②リモートの積極的な活用など）が引き続き求められます。

また、文部科学省の委託事業として「ボーイスカウトと遊ぼう！ワクワク自然体験あそび」をビーバー・カプフェスティバルと同じ会場で開催しました。県連盟全体として参加対象者（ビーバーフェスは小学校低学年、カプフェスは同中学年）への体験活動

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
コミッショナー 真田康広



ならびに保護者に向けた最寄り団紹介を行ったところでした。

その後の津久見会場（同1～3学年）、中津会場（同2～4学年）を含めて、事前の学校を

通じてのチラシ配布、専用サイトでの参加受付により、4会場で参加対象者128名、保護者93名の参加がありました。その後の加盟登録に繋がったことから、県連盟の活動として継続開催して行きたいと思います。ベンチャー部門では、県スカウトフォーラムを契機に持続可能な活動を目指してSDGs（エスディーゼズ）への取組を盛り込みました。各隊プログラムのみならず、日常での行動に意識的に取り組んでいくことを期待しています。

今年度も把手共行（はしゅきょうこう）しボーイスカウト運動の推進に取り組んで行きましょう！

弥栄

進級章〔隼・菊章〕 交付

(3月7日)



菊スカウト章 高瀬陽菜（大分第9団）



隼スカウト章 猪原舞姫（由布第2団）

各団活動

中津第8団



3月14日、カブ隊は「雨ニモマケズ 風ニモマケズ コロナニモマケズ」ボーイ隊の協力のもと安全対策をしっかりとこなってお別れ釣り大会を行いました。



中津第8団は4月4日（日）、入隊上進式を行いました。ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊に入隊スカウトを迎えて元気に令和3年度の活動をスタートしました。
「コロナなんかに負けないぞ！
負けないぞ！負けないぞ！」

別府第9団



3月ビーバー隊は電車で大分へ。
「はい！ポーズ！」 OPAMの入口で記念撮影



4月4日 南立石公園から別府駅まで
優しいデンコーチと一緒に雨の中を歩きました。



4月11日、上進入隊式は、久々に元気なスカウト達の顔が勢揃い。みんなで感染予防を工夫して新年度がスタートしました。

大分第1団



BVS 隊の4月の活動は“お花見ハイクと勾玉作り” In 歴史資料館。公園を歩いて、沢山の花や生き物を見つけて大はしゃぎ。「次はいつ？」「何するん？」の言葉が、楽しい活動のバロメーター。

大分第5団



紙粘土で「勾玉って何？」と悪戦苦闘しながらも上手にできました。



4月に、ビーバー隊・カブ隊合同で竹の子掘りを体験しました。多くの竹の子が土から顔を出していて自分の顔より大きな竹の子に歓声を上げながら挑戦していました。また、竹を使い工作やボーイ数名でロープ渡りチャレンジやブランコ作りを楽しみました。

大分第2団



「コロナの影響で5月の訓練キャンプができなくなり、とても残念そうなスカウト達。今は活動再開に向けて各自自宅で進級と技能章取得へ向けて技能訓練中です。写真は活動中止になる前に公園でテントの設営訓練をしたときの様子です。スカウト達の大好きなキャンプが安全にできる日が、早く来ることを願っています。」

大分第9団



ボーイスカウト大分第9団は、創立50周年を迎えました。記念事業として神社の森を整備し「スカウトの森」づくりを進めています。ビーバー隊は、整備の進む森で、さっそく、元気に楽しい活動をしています。



6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

由布第2団



4月の集会、由布第2回ビーバー隊は大分市美術館へ。たくさんの驚きを発見しました。隊長が下見の時に会ったアナグマは見つけれなかったのは残念でした。ベンチャー隊は、消防署で普通救命講習を受けに行きました。コロナ禍では人工呼吸は行わないとのこと。2名のスカウト手際よくおこなっていました。

津久見第1団



ドラム缶の
ピザ窯で
ピザづくり



新しいキャンプ様式?!

★津久見第1団では、2月の団集会で「ドラム缶のピザ窯」を使ってピザづくりを行いました。ワクワク自然体験あそびより参加のお友だちもいっしょになってパイ生地をこねて→好きな具材を乗せたら窯の中へ→あっという間においしそうなピザの完成!

★新しいキャンプ様式?!を探る
毎年、春休み中は1泊2日の「楽しいハイキング」を実施してきましたが、今年はコロナ禍におけるソロテントによるキャンプサイトづくり・夕食づくりに挑戦しました。

委員会だより

プログラム委員会

プログラム委員会主催行事等の報告

令和3年度のプログラム予定

- ①パイオニアリング (ベンチャー隊)
7月22日・23日 大分県護国神社
「信号やぐら」作成
- ②18NSJ 合同訓練キャンプ (ボーイ隊)
8月6日(金)～9日(月) 明野高尾山自然公園
- ③第8回カブフェスティバル (カブ隊)
10月10日(日) 大分市内
- ④第8回ビーバーフェスティバル (ビーバー隊)
11月3日(水) 文化の日 由布市挾間町

新型コロナウイルス感染拡大を

防ぐためにも・・・

- ①不要不急の外出の自粛を!
- ②会食は家族又は少人数(4人まで)・短時間でマスク会食の徹底を
- ③カラオケの利用自粛
- ④県をまたぐ往来は自粛を

感染力の強い変異株に対しては・・・

- * 密閉・密集・密接→3密の回避
- * マスク着用の上で十分な距離の確保
- * マスク着用の上で短時間の接触
(会食、会話)
- * 黙食の徹底
- * 入念な手洗いや手指消毒の徹底